

減価償却応援 機能アップ版 Ver.11.0 概要

「減価償却応援 Ver.11.0」での対応内容についてご案内致します。

1. プログラムについて

データ移行対象バージョン・・・Ver.9.0以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

Ver.8.1 より前のバージョンをお使いのお客様

現在お使いのデータは移行できませんので、新規に入力してお使いください。

連動可能な法人税システム

法人税顧問 平成 20 年度版以降が連動可能です。

連動可能な所得税システム

所得税顧問 平成 20 年以降が連動可能です。

電子申告プログラム <2010 年 1 月上旬公開>

平成 22 年 1 月申告の固定資産税用電子申告プログラムは、2010 年 1 月上旬リリースしました。固定資産税の電子申告を行う場合には、必ず、今回の Ver11.0 にバージョンアップが必要です。また、「電子申告ダウンロードパック」商品の購入が必要です。

概要のバージョン表記について

「Ver.11.0」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の [ヘルプ]-[バージョン情報] で確認できます。

2. システムの対応内容

Ver.11.0 で対応する内容は、次のとおりです。

1. 別表十六(八) 項目名の変更 (様式改定対応)

別表十六(八) 一括償却資産の損金算入に関する明細書の様式変更により、項番 5 の項目名「当期損金算入額」を「当期損金経理額」に変更しました。

2. 会社基本情報 画面の改善

- ・基本情報に会社種別「法人/個人」を表示します。
- ・償却資産申告書共通の「住所」欄、「氏名」欄などの名称を償却資産申告書の出力項目にあわせた名称に変更しました。

3. 運用方法画面のタブ対応

会社基本情報の運用方法画面を、設定内容ごとに整理・分類し、「計算設定」「資産・リース設定」「帳票設定」タブによる画面切り替えに変更しました。

また、「会社別環境設定」を廃止して、運用方法画面内に統合しました。

4. 資産一覧変更画面からの新規登録、資産コピー登録に対応

- ・資産一覧・変更画面に<新規>を追加し、一覧画面からも新規資産登録ができるように対応しました。(リース物件も同等機能追加)
- ・資産一覧・変更画面に<コピー>を追加し、指定した資産データの内容をコピーして新規資産登録ができるように対応しました。(リース物件も同等機能追加)

資産一覧・登録変更					
新規(N)	変更(U)	検索(F)	移動(M)	資本的支出(A)	減損(O)
コピー(K)	削除(D)	並替(S)	分割(B)	除却・売却(J)	遊休(Y)
資産コード [※]	補助コード [※]	資産名		部門	設
11001	01	管理棟建物		管理部	管理棟
11002	01	第一作業所建物		製造部	第一作

(画面イメージ)

5. 種類別明細書用の摘要の設定に対応

資産登録画面の<償却資産設定>に、種類別明細書の摘要の設定項目を「増加資産・全資産用」「減少資産用」それぞれ新規追加しました。

6. リース機能の拡張

タブメニューにリース関係のタブを追加

リースに関係する内容を「リース」タブにまとめました。

リース物件登録画面の変更

- ・「支払区分」「残価保証額」「年利子額」「解約年月日」を追加しました。
- ・一部、項目名称や選択リストの表示項目を追加、変更しました。

リース月額計機能の対応

リース料などを月度単位で参照・設定できる「リース月額設定」画面を追加しました。
リース物件登録画面の<月次>で起動します。

リース物件管理帳票の新規追加

- ・「管理帳票」メニューの「リース物件等一覧表」を廃止し、新たに「リース物件台帳」を追加しました。
- ・オペレーティング・リースの未経過リース料を1年以内と1年超に区分して出力するよう対応しました。
- ・固定資産台帳の出力条件に準じた指定に変更しました。
- ・経費項目(営業外費用、製造原価、販管費、必要経費算入額)に対する内消費税の出力に対応しました。

月次リース料明細書の新規追加

リース月額設定画面の設定内容を確認できる「月次リース料明細書」を新規追加しました。

7. 減価償却資産の登録に関する変更点(リース定額法の場合)

- ・「償却方法：リース定額」の場合、資産登録画面の「取得年月日」の名称を「契約年月日」に置き換えるよう対応しました。
- ・「償却方法：リース定額」の場合、事業供用日だけでなくリース契約日から減価償却を開始できるよう対応しました。

8. セットアップ、起動時の変更

・セットアップランチャー対応

CDをセットするとセットアップランチャー画面が自動起動し、PC上でセットアップ手順を確認しながらセットアップを行う形式に変更されました。

・ネットワーク版のライセンス登録方法の変更について(減価償却応援ネットワーク版)

バージョンアップ時のライセンスについては、データベースセットアップ時に旧バージョンのライセンスをそのまま引き継いでいましたが(追加ライセンスを除く)、データベースセットアップ時にライセンスを登録する方式に変更しました。

・セットアップ完了後のユーザー登録サイト起動

セットアップが完了すると、画面に「オンライン登録サイトを起動する」の画面が表示されます。チェックを入れたまま<完了>をクリックすると、オンライン登録サイト(マイページ)が表示されます。必要に応じてユーザー登録および製品登録を行います。

・システム起動時の「今回の変更点」画面の起動

減価償却システム起動時に、「今回の変更点」(機能アップ等の解説資料)を自動起動するように対応しました。

9. 電子マニュアルの対応

PDF化したマニュアルをプログラムから開くことができるように対応しました。

会社選択・登録画面の右下に<マニュアル>ボタンを追加しました。また、メニューバーの「ヘルプ」の右側に「マニュアル」と、ツールバーに<マニュアル>ボタンを追加しました。

10. ターミナルサービス対応について(減価償却応援ネットワーク版)

Windows Server 2003 / Windows Server 2008 のコンピューターをターミナルサーバーにして、リモートデスクトップ接続により減価償却システムを利用することができるようになりました。

応援スタンドアローン版は、ターミナルサービス環境下での使用は動作保証外となります。

3.動作環境

	スタンドアロ - ン版	ネットワーク版	
		クライアント	サーバー
OS	Microsoft® Windows® 7 / Windows Vista®/ Windows® XP / Windows® 2000 (*1)		Windows®2000Server Windows Server®2003 (*2) Windows Server®2008 (*2)
メモリー	Microsoft® Windows® 7 : 1 GB以上 Windows Vista® : 512MB以上 (1GB以上を推奨) Windows® 2000、Windows® XP : 128MB以上 (256 MB以上を推奨) Windows Server® 2003 : 256 MB 以上 (512 MB 以上を推奨) Windows Server® 2008 : 512 MB 以上 (2 GB 以上を推奨)		
CPU	Microsoft® Windows® 7 : 1 GHz 以上 Windows® Vista : 800MHz 以上 (1GHz 以上を推奨) Windows® 2000、Windows® XP : 400MHz 以上(500 MHz 以上を推奨) Windows Server® 2003 : 550 MHz 以上(1 GHz 以上を推奨) Windows Server® 2008 : 1GHz 以上 (2 GHz 以上を推奨)		
ディスプレイ	1024×768 (小さいフォント) 以上 (Windows® XP の場合は「標準のフォント」、 Windows Vista®の場合は「標準のスケール」、Windows® 7 の場合は「既定のスケール (96DPI)」を使用) 表示色 : High Color(16 ビット)以上推奨		
HDD	80MB 以上	70MB 以上	12MB 以上
データ容量	登録数×2.0MB(*3)	-----	登録数×2.0MB(*3)
プリンター	上記対応 OS で使用可能なページプリンター(*4)		

- 1 Windows®95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® は動作対象外です。
- 2 ネットワーク版のサーバーとしてのみ使用可能です。
- 3 約1会社100資産の容量です。

4.プロダクトIDについて(スタンドアロン版)

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証)に貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアロン版)を複数本使用される場合、2本目以降のライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)を割安価格でご用意しています。

ライセンス商品はこんなときに最適です。

企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合

本社以外の出先拠点(支社、営業所等)において使用する場合

会計事務所において、在宅処理や外出先処理(モバイル用途)等の所外で使用する場合

学校等の教育用途として使用する場合

【著作権・使用許諾契約について】プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。

5.ライセンスキーについて(ネットワーク版)

ライセンス設定方法の変更に伴い、従来のFDによるライセンスのご提供を廃止し、ネットワーク基本パックでライセンスキーを入力する方法に変更となります。ライセンスキーは製品固有の32桁の英数字で、CDケースに貼付のラベルに記載されます。したがって、減価償却応援ネットワーク版Ver.11.0を使用する場合は、ネットワーク基本パックをライセンスのキー入力に対応したVer.3.7にバージョンアップしていただく必要があります。(ネットワーク基本パックVer.3.7は減価償却応援 Ver.11.0のCDに収録)詳細は、バージョンアップ商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。